

警察官 A（情報技術）区分に関するQ&A

Q1 「情報技術」とはどのような採用区分ですか？

パソコンやインターネットの知識・技能を活かして、サイバー犯罪捜査等の職務に従事する警察官の採用区分です。職務内容は、通常の警察官としての業務のほか、適性に応じてサイバー犯罪捜査、解析、システム開発業務等に優先的に従事します。



Q2 採用された後はどのようなになるのですか？

採用後は、通常の警察官と同じように警察学校に入校して警察官としての基本を学んだり、警察署での実習等を行います。その後、適性に応じて生活安全部門や刑事部門などの各部門で専門知識を活かした職務に当たり、実務や各種研修を通じてスキルアップを図っていくことができます。

Q3 受験には IT 資格等が必要ですか？

IT 資格等は必要ありません。
受験資格は、通常の警察官 A と同じ年齢、学歴要件となります。

Q4 文系の大学に通っているのですが、受験はできますか？

学部、学科、専攻の要件はありませんので、受験可能です。
受験資格は、通常の警察官 A と同じ年齢、学歴要件となります。

Q5 通常の警察官 A の試験との違いは？

通常の警察官 A（男性・女性）採用試験との主な違いは、

- ・ 専門試験が行われること
- ・ 体力試験がなく、体力検査が行われること
- ・ 試験職種に男女別がないこと

です。

Q6 専門試験とはどのようなものですか？

警察官A(情報技術)では第1次試験において教養試験のほかに専門試験が行われます。

専門試験は、専門的知識、能力等について大学卒業程度の筆記試験が行われるもので、五肢選択式により40題出題されます。

【出題分野】基礎理論、コンピュータシステム、技術要素、開発技術、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム戦略、経営戦略、企業と法務 等

Q7 体力検査と体力試験の違いは？

通常の警察官A(男性・女性)の体力試験には配点や不合格基準が設けられていますが、情報技術区分で行われる体力検査にはこれがありません(検査結果は第3次試験の人物試験(個別面接)の参考とします)。

ですから、体力に自信のない方でも積極的に受験をしていただきたいと思います。

Q8 資格加点はありますか？

情報技術区分の試験には、資格加点はありません。

警察官全般に関する疑問については、「山梨県警察官採用Q&A」をご覧ください。

採用試験に限らず、業務内容や警察学校の生活等、警察官・警察行政職員を志すうえで疑問・不安に思うことがあれば、随時回答しますので、0120-314-874(採用専用ダイヤル)または055-221-0110採用係(山梨県警察本部)までご連絡ください。

